



一般質問

■第2次総合計画策定

未来に繋がる総合計画に！

**荒川議員** ①第2次総合計画の策定に向けて、どのような計画の方向性や基本的な考えがあるのか。②総合計画審議会の組織運営はどのようなものなのか。③市民総意の総合計画として、市民や議会の関与が担保されることが重要だと考えるが、方策はあるのか。

■不嶋市長

①今後10年間を見据えて、基本構想と基本計画の2層立てで策定する。基本的な方向性については、市民憲章では、時代や時々の政治に流されることなく、不変不朽のものとして七尾市の将来像をつたい込んだものとなっており、基本構想としては、これを超えたものを作れないと考える。②各界から20名の方を選び、住民生活、産業建設、教育文化の3つの部門にそれぞれの基本計画に関する事項をしっかりと調査、審議してもらう。全体会議では、基本構想をはじめ、各部会で検討した基本計画や庁内で検討する内部管理に関する取り組みなどについて調査・審議してもらう。③アンケート調査やパブリックコメントを行うとともに、各部会では審議会委員と各分野で活躍する市民などと意見交換を予定しており、市民の意見をしっかりと計画に落とし込んでいきたい。議会関与については、検討過程もつまびらかにして、適時報告を小まめにしていく予定。



荒川 一義 議員 (礎)



市民のねがい一七尾市民憲章ー

- 【その他の質問項目】
- 合併効果検証の実施
- ローカルベンチャー推進事業

一般質問

■地域づくり協議会について

地域に応じた基金利用を！

**高橋議員** ①地域づくり推進基金について、地域で十分に基金を活用してもらうために、どのような工夫を考えているのか。②地域の課題は様々だが、窓口を一元化して庁内の横断的な仕組みづくりが必要だと思うが、どのような対応を考えているのか。③親善都市の丸亀市は、まちづくりの先進地であり、丸亀市とまちづくりを生かした交流を通じて、一層の親善を図り、協議会と行政が共に学ぶ場ができるのではないかと。

■福島市民生活部長

①平成30年から平成32年までに提案型補助金をさらに利用しやすいように要綱を定めて拡充する。市が実施する事業で、地域で行う方がより効果的な場合は、引き続き地域づくり協議会と協議し、お願いをする。また、今年度中に情報交換できる場の設置を考えている。②協議会からの相談などは、地域づくり支援課を窓口にし、内容を確認し、担当課と事前協議を行いながら対応していく。また、既に庁内連絡会を設置しており、全庁的に情報共有化を行う仕組みになっている。③丸亀市とは、既に人事交流を行い、地域づくりについて情報交換はしている。まずは、市内15協議会を繋ぐ組織として連絡会がしっかりと機能することを期待し、そのうえで、連絡会としての交流になるのか、それぞれ行つのかは、今後検討していく。



高橋 正浩 議員 (礎)



丸亀市での視察の様子

- 【その他の質問項目】
- 総合戦略の成果
- 公共施設の管理
- 公立保育園の民営化

一般質問

■鳥獣対策（イノシシ対策）について

イノシシ駆除の強化を！

**永崎議員** ①イノシシの捕獲計画について、今年の計画はどうなっているのか。②イノシシの駆除委託費について、これまでの駆除交付金が適当なのか。③駆除対応で、全県的な連携も大事だと思うが、そういう動きはあるのか。④県のジビエブランド化と安定供給に七尾市も介入しているが、何を狙っているのか。

■前田産業部長

①今年度は昨年から20基増設の133基を設置して捕獲を行う。昨年度の有害捕獲数は593頭、今年度は257頭増の850頭の捕獲を目指している。②昨年のイノシシ駆除業務委託費は、捕獲檻1基あたり11万円5000円で契約し、適正に管理されている。捕獲交付金は、成獣1頭8000円、幼獣1頭10000円で、国が定めた金額である。七尾市では、捕獲隊員の意欲をより高めるため、成獣・幼獣とも20000円を上乗せ助成している。③石川県で鳥獣被害防止担当者研修会を実施したり、自治体とJAがメンバーとなって総合的な被害防止対策の実施内容の確認と情報共有を行ったりしている。④市では、イノシシの捕獲、流通消費等の課題解決に向けて、技術講習会やジビエ料理講習会などに参加を促し、今後もジビエ工利用に普及・PRを行っていく。

- 【その他の質問項目】
- 地域防災
- 危機管理対応
- 和倉温泉海岸美化対応
- 七尾港利用促進対応



永崎 陽 議員 (灘)



捕獲されたイノシシ